

大学生の語種イメージ(1)

— 数量化第Ⅲ類による解析の試み —

菊地 悟*

(1991年12月10日受理)

Satoru KIKUCHI

The Images of Original Japanese Words, Chinese Loanwords, and Western
Loanwords; On the Research into University Students (1)

和語、漢語、外来語という語種にはイメージ(語感)の差異があるとの定説を客観的データにより検証しようとする研究の一環として、大学生を対象にチェックリスト方式の調査を行い、その結果を数量化理論第Ⅲ類の手法で解析しようと試みた。回答数という量的データを質的データに変換する際に、どういう基準を用いればよいかを考察するために、回答率20%以上、15%以上、10%以上の3段階の基準を設定して、それぞれのカテゴリー・スコアを算出してみた。その結果、15%以上の場合に、カテゴリーの散布が最も明瞭になった。その場合、カテゴリーは「重い — 軽い」「上品 — 下品(愛らしい — 汚らわしい)」「かわいい — 美しい」のような軸でとらえられるようである。

1 目的

日本語の語彙は、その出自から和語・漢語・外来語(洋語)の3種に大別できる。そして、同じ意味の語であっても、どの語種に属するかによってイメージ(語感)が異なることが指摘されている。「やどや・旅館・ホテル」、「めし・御飯・ライス」などはその典型とされる。

『日本語教育事典』⁽¹⁾の「語種」の項には、「和語には俗っぽい感じが付きまとうのに対して、漢語・外来語には、優雅で洗練された感じがある」とあり、さらに「それは、和語が日々いたるところで、あらゆる人に使われていて、いわば日本人の手あかと汗のし

*岩手大学教育学部国語科

みつけた生活語であるところから来ている。和語の使われる回数や場面と和語の語感とに、深い結び付きのあることを認識すべきである」と述べられている。もっとも、一方では、「旅」や「若者」を例にあげて、「和語の方がゆかしく雅語めいてひびく場合や重々しさを感ぜさせる場合も中にはある」という記述も見られ、必ずしも語種のイメージが一様であるとはいえない面がある。

筆者は以前、大学生と小学生を対象に、語種の異なる語についてあらかじめ用意した10種の形容語対における位置付けをさせるという、SD法形式の調査を行い、因子分析ならびにクラスター分析の手法で分析した⁽²⁾。その結果、外来語が独自の位置を占めていることは検証できたが、漢語と和語は語によってイメージに差があり、語種という分類ではくくりきれないことをうかがわせる結果が出た。しかし、そもそも形容語対が適切なものであったか、また取り上げる語群をもっと多様なものにした方がよかったのではないか、という点が課題として残り、一度の調査で結論が出たとは言い難い。

そこで、前回とは違った手段で、語種イメージに関する調査を行うこととした。今回は、対象を大学生にしぼり、多数の形容語を並べて当てはまるものをチェックさせるというチェックリスト方式での調査に変更した。その結果を数量化理論第Ⅲ類によって分析して、考察を加えることにする。それによって、前回の分析結果に何かを付け加えることができればと思う。

2 調査の概要

今回もアンケート形式による調査で、多数のイメージの集約をはかった。対象となったのは、岩手大学教育学部の学生であるが、119名分の有効回答が得られた。

イメージを喚起する側の刺激語に選んだのは、次の20語である。

スイミング・水泳・泳ぎ・フレンド・友人・友・友だち・クエスチョン・問題・問い
 ・トラベル・旅行・旅・ひょうきん・すばる・(花の)ばら・はれんち・あすか・ひんしゅく・(魚卵の)いくら

このうち、「スイミング・水泳・泳ぎ」「フレンド・友人・友」「クエスチョン・問題・問い」の3組、9語は前回の調査と共通している。ただ、このうちの「友」は、和語といっても、日常会話ではあまり使われることがなく、前述の「雅語めいた」表現に当たるため、より日常的な「友だち」を加えることにした。また同趣の外来語・漢語・和語の組み合わせをもう一組ということで、「トラベル・旅行・旅」を加えてみた。

「ひょうきん」以下の7語は、語種の所属が誤解されやすいようなものを集めてみた。

「ひょうきん・はれんち・ひんしゅく」は、漢語でありながら平仮名や片仮名で書き表

されることが多く、俗語的な印象が持たれているのではないかと推察される。

「すばる・あすか」は和語でありながら、片仮名表記で自動車のメーカーあるいは車種の名前に使われる一方、「昴・飛鳥」という漢字表記で、歌の題名、歌手の名前などに用いられている。おそらく、その語に古代あるいは大陸的なロマンの香りを感じての命名と考えられるが、歌のヒットなどで、そのイメージが一般的なものとなったように思われる。また、「ばら」は、「むばら」の語頭音が脱落してできたという事情から、和語には珍しい、濁音で始まる語になっていて、花自体の印象とあいまって西洋的なイメージがあるように思われる。

「いくら」は、ロシア語に由来する外来語であるということがあまり知られていない。アニメーションに登場する幼児に命名されるほど親しまれている食品名であり、疑問副詞の「いくら」と同音語であることから、ほとんど和語のような印象が持たれているようである。

これらはむしろ語種イメージというものへの反例となるものとして取り入れてみた。

次に評価語としての形容語であるが、次の60語とした。

なつかしい・現代的・好き・きれい・おもしろい・暗い・軽やか・優雅・年寄りくさい・角張っている・のどか・おしゃれ・大げさ・軽薄・さわやか・暖かい・かわいい・上品・つまらない・嫌い・かたい・派手・よそよそしい・新しい・子供くさい・野暮ったい・明るい・渋い・男性的・飾り気がない・古くさい・不潔・きざ・ふざけている・大人っぽい・清潔・重苦しい・伝統的・そっけない・まじめ・下品・かっこいい・風流・控え目・きたない・俗っぽい・新鮮・いまわしい・素朴・若々しい・だらしない・地味・やわらかい・冷たい・親しみがある・丸みがある・重厚・くつろいだり・女性的・ださい

これらは、新旧・美醜・好悪・親疎・雅俗・軽重・硬軟などの観点から、対になる形容語を入れるようにするとともに、対になる語同士を近くに置かないように配慮したものである。回答者に対であることを意識させないことで、一見矛盾したような回答も出てくる余地を残した。それによって、一般的に考えられる類義・対義関係とは違った形容語同士の関係が見えて来る可能性もある。この点は、前回のようなSD法の手法では考慮の余地がなかった点である。

回答用紙の体裁は、上の欄に刺激語20語、左の欄に評価語60語を記入した格子状の表にして、刺激語と評価語が適応する場合には、該当する欄に丸印を付けさせた。丸印を記入する箇所を間違える可能性もあり、あまり適切な体裁ではなかったかもしれない。ただ、大多数の回答者は時間を掛けて確認しながら回答していたようであり、信頼性に影響を与えるほどのものではないと思われる。

3 評価語の分析

調査の結果、それぞれの欄について何人が丸印を付けていたかを集計して、全体(119人)に対する百分率を示すと、別表(A)(B)のようになる。

これを刺激語がサンプル、評価語がカテゴリーの質的データと考えると、数量化第Ⅲ類での分析を試みる⁽³⁾のだが、何パーセント以上の回答があれば刺激語と評価語との適応を認めてよいのか、という点が問題になってくる。50%以上の人が回答するようならば、当然適応は認められようが、それほどの高い割合のものにしばると、あてはまる項目が非常に少なくなり、分析が困難になる。25%以上というレベルまで下げても、状況は同様である。

そこで、回答率を20%以上とした場合から始めて、15%以上とした場合、10%以上とした場合の3通りについて、分析を試み、結果を比較することにする。

今回はひとまず評価語の側を分析しておき、刺激語の分析は次稿に回すことにする。

3-1 回答率20%以上の場合

60個の評価語のうち、「大げさ・つまらない・子供くさい・野暮ったい・そっけない・控え目・冷たい」は該当しない。4次元までのカテゴリー・スコアは表1のようになる。

表1

	1次元	2次元	3次元	4次元		1次元	2次元	3次元	4次元
なつかしい	0.20	0.22	0.71	0.36	不潔	-0.07	2.06	-0.61	-0.40
現代的	-0.01	-1.45	-0.64	-0.54	きざ	-0.01	-1.26	-0.55	-0.47
好き	-0.32	-0.27	2.92	-0.81	ふざけている	-0.09	1.81	-0.71	-0.47
きれい	0.00	-0.37	-0.30	2.75	大人っぽい	0.75	-0.08	0.02	0.61
おもしろい	0.34	0.38	1.22	0.61	清潔	-0.02	-1.19	-0.65	-0.39
暗い	3.34	-0.12	0.03	-0.25	重苦しい	2.42	-0.09	0.02	-0.18
軽やか	-0.02	-0.98	-0.58	-0.40	伝統的	0.00	0.00	0.43	1.99
優雅	0.00	-0.10	0.01	1.20	まじめ	2.89	-0.10	0.03	-0.22
年寄りくさい	0.35	1.08	0.35	0.52	下品	-0.10	2.09	-0.82	-0.54
角張っている	3.34	-0.12	0.03	-0.25	かっこいい	-0.02	-1.64	-0.64	-0.45
のどか	0.00	0.30	0.90	0.64	風流	0.00	-0.08	0.42	2.71
おしゃれ	-0.02	-1.36	-0.56	0.05	きたない	-0.08	2.20	-0.66	-0.44
軽薄	-0.09	1.81	-0.71	-0.47	俗っぽい	-0.05	-0.13	-0.80	-0.61
さわやか	0.25	-0.49	0.60	0.19	新鮮	-0.38	-0.75	2.43	-1.07
暖かい	0.20	0.18	1.03	0.30	いまわしい	-0.09	2.32	-0.71	-0.47
かわいい	-0.67	-0.22	4.77	-1.54	素朴	0.33	0.86	0.91	0.49
上品	0.00	-0.41	-0.29	3.43	若々しい	-0.02	-1.56	-0.61	-0.50
嫌い	-0.10	1.98	-0.78	-0.51	だらしない	-0.10	2.14	-0.84	-0.56
かたい	2.59	-0.09	0.03	-0.20	地味	0.41	0.67	0.41	0.61
派手	-0.02	-1.01	-0.49	0.79	やわらかい	0.31	0.35	1.14	0.57
よそよそしい	2.54	-0.03	0.02	-0.98	親しみがある	0.71	0.24	0.78	0.39
新しい	-0.02	-1.56	-0.59	-0.41	丸みがある	-0.37	-0.16	2.85	-0.92
明るい	0.23	-0.31	0.57	0.25	重厚	2.23	-0.08	0.02	-0.17
渋い	0.00	0.30	0.90	0.64	くつろいだ	0.30	0.26	0.92	0.42
男性的	0.00	0.01	0.37	1.76	女性的	0.00	-0.41	-0.29	3.43
飾り気がない	0.27	0.24	1.37	0.38	ださい	-0.09	2.44	-0.75	-0.50
古くさい	0.35	1.08	0.35	0.52					

1次元の正方向では「暗い・角張っている」が同値で最も高く、以下「まじめ・かたい・よそよそしい・重苦しい・重厚」が続いている。負方向では「かわいい・新鮮・丸みがある・好き」が見えるが、数値はあまり高くない。「きれい・優雅・のどか・上品・渋い・男性的・伝統的・風流・女性的」などは原点上にある。軸の解釈としては「角張っている——丸みがある」もしくは「かたくるしい——かわいらしい」といったところであろうか。正方向は悪印象、負方向は好印象のようである。

2次元は、正方向には「ださい・いまわしい・きたない・だらしない・下品・不潔」、負方向には「かっこいい・若々しい・新しい・現代的・おしゃれ」が並ぶ。原点付近には「伝統的・男性的・よそよそしい・風流・重厚・大人っぽい・重苦しい」などがある。これは「ださい——かっこいい」の両語形で代表される軸のようである。

3次元は、正方向には「かわいい・好き・丸みがある・新鮮」が並ぶ。負方向には「だらしない・下品・俗っぽい・嫌い・ださい・いまわしい・軽薄・ふざけている」などが並んでいる。「優雅・よそよそしい・大人っぽい・重苦しい・重厚・暗い・角張っている・かたい・まじめ」などが原点付近にある。「かわいらしい——いやらしい」といった軸ではなかろうか。

4次元は、正方向には「上品・女性的・きれい」が、負方向には「かわいい・新鮮・よそよそしい・丸みがある」が並ぶ。原点に最も近いのは「おしゃれ」である。「きれい——かわいい」といった軸のようである。3次元までは、「かわいらしい」「かっこいい」といった好印象が一方の極となり、その対極に悪印象が来るという図式であるが、4次元は好印象に双方向性があることを示す軸のようである。ただ、負方向に「よそよそしい」が入っているあたり、必ずしも意味のある軸とはいえないかもしれない。

図1は、横軸に1次元を、縦軸に2次元をとってカテゴリーをプロットしたグラフである。1次元の正方向の特徴を示した「暗い・角張っている・まじめ・かたい・よそよそしい・重苦しい・重厚」は、2次元では全く中立的であることがわかる。逆に2次元の正方向にある「ださい・いまわしい・きたない・だらしない・下品・不潔」、負方向にある「かっこいい・若々しい・新しい・現代的・おしゃれ」は1次元では全く中立的である。

図2は、横軸に2次元、縦軸に3次元をとったものであるが、こちらの場合は2次元の正方向に「ださい」以下の一群、負方向に「かっこいい」以下の一群、3次元の正方向に原点から最も離れて「かわいい」、少し原点寄りに「好き・丸みがある」、軸からやや離れて「新鮮」と、カテゴリーが三極に分かれて見える。

図 1

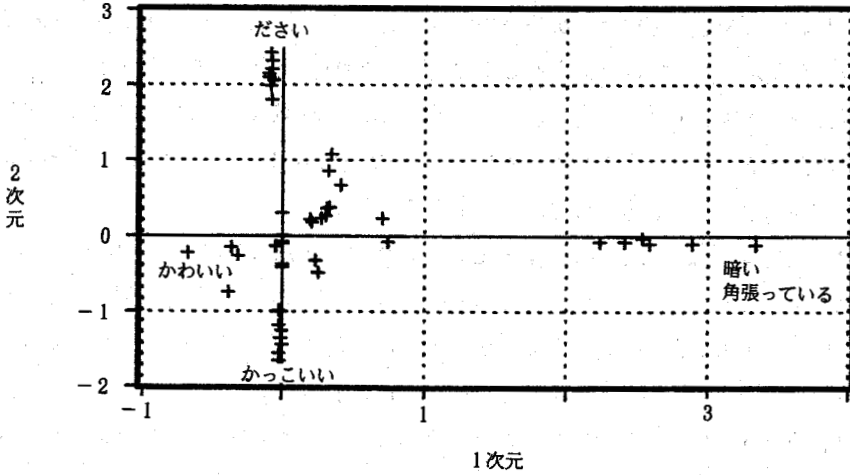
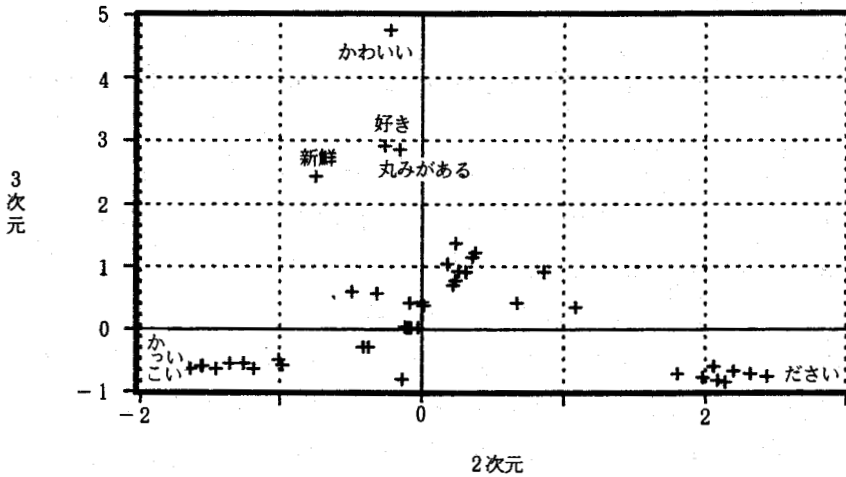


図 2



3-2 回答率15%以上の場合

該当しない評価語は「そっけない・控え目」である。4次元までの、カテゴリー・スコアは表2のようになる。

1次元は、正方向に「角張っている・つまらない・重苦しい・地味・かたい・まじめ・重厚・年寄りくさい・暗い・男性的」と並び、負方向に「新しい・現代的・俗っぽい・軽薄・軽やか・きざ」が並ぶ。原点付近には「くつろいだ・おもしろい・優雅・子供くさい・清潔・風流」がある。「重い — 軽い」といった解釈ができるが、これは「重厚 —

表2

	1次元	2次元	3次元	4次元		1次元	2次元	3次元	4次元
なつかしい	0.25	-0.08	0.36	-0.08	飾り気がない	0.68	-0.18	0.46	0.00
現代的	-1.02	-0.73	-0.77	-1.34	古くさい	1.05	-0.50	-0.43	0.77
好き	-0.17	-0.87	1.43	0.03	不潔	-0.63	2.17	0.48	1.24
きれい	0.11	-1.44	-0.97	2.38	きざ	-0.91	-0.75	-0.72	-1.24
おもしろい	-0.03	-0.80	-0.03	-0.01	ふざけている	-0.55	1.89	0.42	1.08
暗い	1.24	2.08	0.33	0.39	大人っぽい	0.71	-0.49	0.39	0.67
軽やか	-0.92	-0.56	-0.65	-1.15	清潔	0.07	-0.97	-0.61	1.50
優雅	0.05	-1.08	-0.54	1.30	重苦しい	2.07	0.30	-0.14	-0.77
年寄りくさい	1.28	0.15	-0.04	-0.26	伝統的	0.67	-0.84	-0.56	1.32
角張っている	3.00	0.64	-0.68	-1.16	まじめ	1.89	0.23	0.02	-0.73
のどか	0.92	0.01	-0.02	0.00	下品	-0.77	2.65	0.58	1.52
おしゃれ	-0.83	-1.04	-0.80	-0.88	かっこいい	-0.50	-0.52	-0.44	0.35
大げさ	-0.82	0.85	-0.04	-0.23	風流	0.09	-1.20	-0.77	1.89
軽薄	-0.94	0.61	-0.18	-0.55	きたない	-0.77	2.65	0.58	1.52
さわやか	-0.43	-0.02	-0.04	0.10	俗っぽい	-0.94	0.61	-0.18	-0.55
暖かい	0.68	-0.15	0.65	-0.20	新鮮	-0.82	-1.06	2.11	-0.41
かわいい	-0.65	-2.33	6.39	0.38	いまわしい	-0.77	2.65	0.58	1.52
上品	0.15	-1.93	-1.29	3.18	素朴	0.18	-0.67	1.74	0.05
つまらない	2.48	0.36	-0.17	-0.92	若々しい	-0.83	-0.27	-0.49	-0.88
嫌い	-0.77	2.65	0.58	1.52	だらしない	-0.77	2.65	0.58	1.52
かたい	1.89	0.23	0.02	-0.73	地味	1.92	0.24	-0.12	-0.59
派手	-0.72	-0.69	-0.61	0.28	やわらかい	-0.40	-1.44	3.95	0.24
よそよそしい	1.07	-0.18	0.88	-0.32	冷たい	-0.59	-0.02	-0.66	0.14
新しい	-1.07	-0.75	-0.80	-1.39	親しみがある	0.64	-0.14	0.60	-0.18
子供くさい	-0.03	0.04	-0.03	-0.01	丸みがある	-0.40	-1.44	3.95	0.24
野暮ったい	-0.59	2.02	0.44	1.15	重厚	1.66	0.00	0.49	-0.61
明るい	-0.84	-0.47	-0.58	-1.03	くつろいだ	0.00	-0.45	1.13	0.00
渋い	0.33	-0.43	-0.21	1.01	女性的	0.15	-1.93	-1.29	3.18
男性的	1.05	-0.20	-0.19	0.55	ださい	-0.58	1.17	0.11	0.71

— 軽薄」「重苦しい — 軽やか」という二面性を持っている。

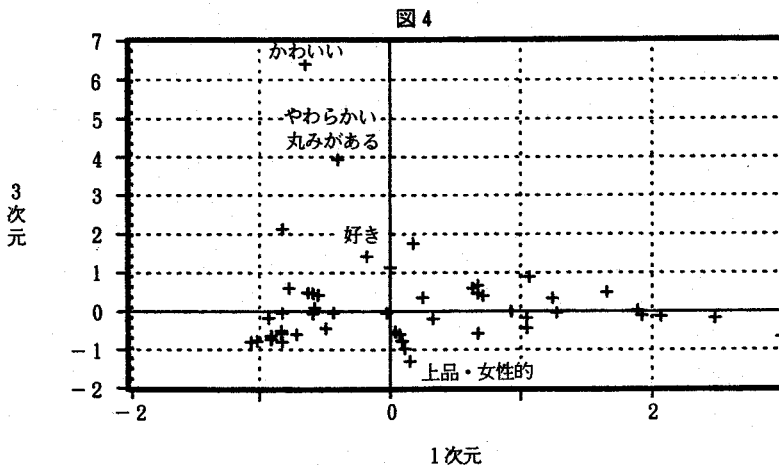
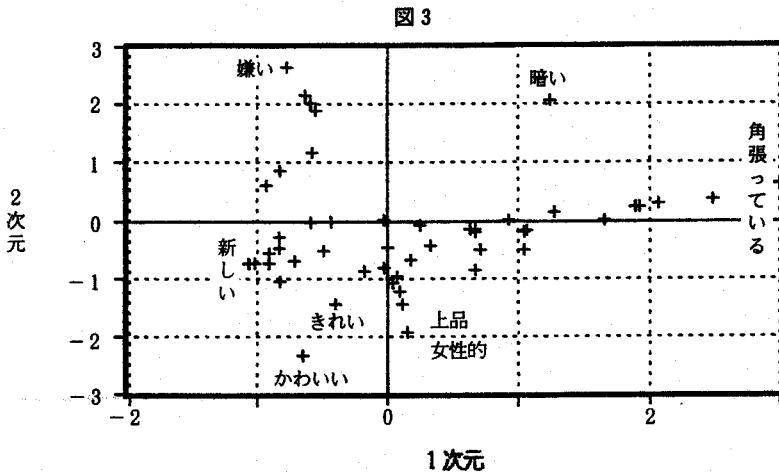
2次元は、正方向に「嫌い・下品・きたない・いまわしい・だらしない」が同値で最大なのにつき「不潔・野暮ったい・暗い」とマイナスの評価語が並ぶ。一方、負方向には「かわいい・女性的・上品・やわらかい・丸みがある」が並ぶ。原点付近には、「重厚・のどか・さわやか・冷たい・子供くさい・なつかしい」などがある。「下品 — 上品」もしくは「汚らわしい — 愛らしい」といった軸が考えられる。

3次元は、正方向に「かわいい」が際立って高い数値を示し、「丸みがある・やわらかい」が同値で続く。負方向に「上品・女性的」が同値で最大、「きれい」が続く。原点付近には「のどか・かたい・まじめ・おもしろい・子供くさい・年寄りくさい・大げさ・さわやか」がある。「かわいい — きれい」という、2次元の負方向を二分した次元のようである。

4次元は、正方向に「上品・女性的」が同値で最大、「きれい」が続く。負方向には「新しい・現代的・きざ・角張っている・軽やか・明るい」が並ぶ。原点付近には「のどか・飾り気がない・くつろいだ・おもしろい・子供くさい・好き・素朴・なつかしい」などがある。意味が通るような軸の解釈は困難である。

図3は横軸に1次元、縦軸に2次元をとったカテゴリー・プロットの図である。雑然としてはいないが、原点から放射状にカテゴリーが分布している。第1象限に独自の位置を占めているのが「暗い」、第3象限に独自の位置を占めているのは「かわいい」、同一ベクトル上の原点寄りにあるのが「きれい」である。また「嫌い・いまわしい・きたない・下品」は同一点上にプロットされ、やや原点よりに「不潔・野暮ったい・ふざけている」が位置する。横軸近く正方向に並んでいるのは「角張っている・つまらない・重苦しい・地味・かたい・まじめ・重厚」などであり、縦軸近く負方向には「上品・女性的」が同一点上にプロットされている。

図4のように横軸に1次元、縦軸に3次元をとったときには「かわいい」が他と離れて、「丸みがある・やわらかい」が同一点上にプロットされる。両者を結ぶ直線は「好き」を通して原点に達するが、逆方向に位置するのが同一点上にある「上品・女性的」である。



3-3 回答率10%以上の場合

60個の評価語すべてが該当する。3次元までのカテゴリー・スコアは表3のとおりである。

表3

	1次元	2次元	3次元		1次元	2次元	3次元
なつかしい	0.20	0.04	-0.10	古くさい	0.59	-0.39	-0.08
現代的	-0.75	-0.15	-0.44	不潔	-2.55	-0.51	-1.36
好き	0.15	1.62	-0.10	きざ	-0.70	-0.16	2.96
きれいな	-0.12	-0.01	-0.07	ふざけている	-1.58	-0.27	-0.80
おもしろい	-0.93	-0.19	-0.54	大人っぽい	0.74	-0.06	-0.07
暗い	0.59	-0.43	-0.08	清潔	0.61	-0.06	-0.06
軽やか	-0.71	-0.14	-0.42	重苦しい	1.80	-0.84	-0.10
優雅	-0.40	0.01	-0.08	伝統的	1.05	-0.52	-0.11
年寄りくさい	0.71	-0.46	-0.09	そっけない	0.00	0.00	0.00
角張っている	1.27	-0.75	-0.12	まじめ	1.35	-0.80	-0.13
のどか	0.75	-0.06	-0.08	下品	-2.17	-0.37	-1.09
おしゃれ	-0.76	-0.17	3.35	かっこいい	-0.55	0.04	2.69
大げさ	-1.06	-0.22	-0.57	風流	0.99	-0.01	-0.07
軽薄	-1.41	-0.24	-0.71	控え目	1.88	-0.87	-0.10
さわやか	0.44	0.01	-0.09	きたない	-2.89	-0.49	-1.45
暖かい	0.96	-0.07	-0.08	俗っぽい	-1.29	-0.22	-0.65
かわいい	0.84	3.84	-0.15	新鮮	0.19	1.50	-0.10
上品	0.33	2.47	-0.10	いまわしい	-2.89	-0.49	-1.45
つまらない	1.30	-0.86	-0.17	素朴	0.62	2.85	-0.11
嫌い	-0.19	-0.73	-0.74	若々しい	-0.82	-0.17	-0.38
かたい	1.24	-0.73	-0.12	だらしない	-2.27	-0.39	-1.14
派手	-0.71	-0.16	3.07	地味	1.44	-0.70	-0.12
よそよそしい	0.37	-0.58	-0.36	やわらかい	0.62	2.85	-0.11
新しい	-0.87	-0.19	3.23	冷たい	1.05	-0.63	-0.10
子供くさい	-0.98	0.07	-0.16	親しみがある	0.43	-0.31	-0.10
野暮ったい	-1.51	-0.26	-0.76	丸みがある	-0.40	3.86	-0.15
明るい	-0.81	-0.16	1.89	重厚	0.93	-0.54	-0.10
渋い	0.87	-0.39	-0.08	くつろいだ	-0.13	-0.02	-0.08
男性的	0.82	-0.48	-0.08	女性的	-0.13	2.32	-0.07
飾り気がない	0.64	-0.41	-0.07	ださい	-1.61	-0.28	-0.81

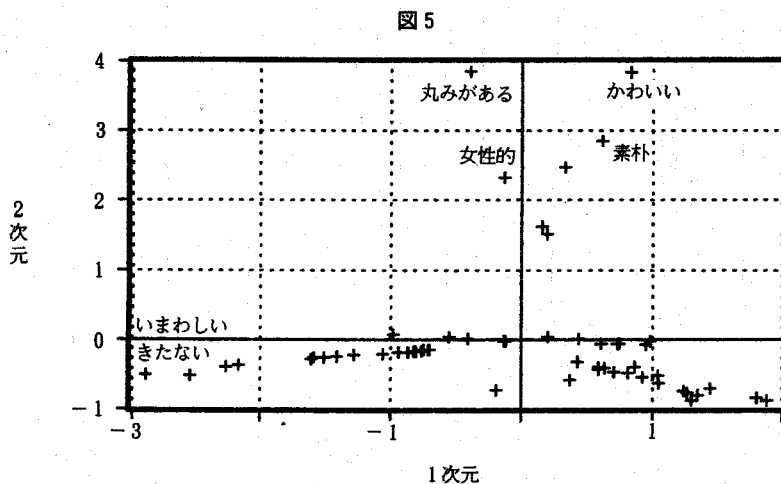
1次元は、正方向には「控え目・重苦しい・地味・まじめ・つまらない・角張っている・かたい・冷たい・伝統的」が並び、負方向には「きたない・いまわしい」が同値で最大、「不潔・だらしない・下品・ださい・ふざけている・野暮ったい・軽薄・俗っぽい」が続いている。原点には「そっけない」がある。「重厚——軽薄」「まじめ——不まじめ」といった軸の解釈が考えられるが、負方向の「きたない・いまわしい・不潔」が軸上に位置付けにくい。

2次元は、正方向には「丸みがある・かわいい」が際立ち、「素朴・やわらかい・上品・女性的・好き・新鮮」が続く。負方向には「控え目・つまらない・重苦しい・まじめ・角張っている・嫌い・かたい」が並んでいる。原点には「そっけない」、その付近には「きれいな・優雅・さわやか・風流・くつろいだ・なつかしい・かっこいい」などがある。

「愛らしい —— かたくるしい」といった軸であろう。

3次元は、正方向には「おしゃれ・新しい・派手・きざ・かっこいい・明るい」が並び、負方向には同値で最大の「きたない・いまわしい」に続き、「不潔・だらしない・下品」が並ぶ。原点には「そっけない」、付近には「清潔・きれい・飾り気がない・暗い・大人っぽい・優雅・のどか・風流・女性的・暖かい」などがある。「おしゃれ —— だらしない」といった軸で、「だらしない」というマイナス評価の極致が「きたない・いまわしい」になるようである。

図5は横軸に1次元、縦軸に2次元をとってプロットしたものである。2次元正方向で高い値を示した「かわいい」以下の語群が、第1象限の「かわいい・素朴・やわらかい・上品・好き・新鮮」と第2象限の「丸みがある・女性的」とに分かれているが、意味付けが困難である。



3-4 まとめ

以上、3つの場合について、数量化第Ⅲ類による分析の手始めとして、カテゴリーである評価語の分析を試みてきたわけであるが、それぞれに違った結果が得られた。軸そのものも変わってくるのであるから、どの基準を選択するかは、分析において重要なポイントになると思われる。基準をどうするかについては、さらに検討を加える必要があろうが、今回の場合は、10%以上にまで基準を下げてしまうと、軸の解釈がしにくくなるとともに、軸相互の独立性も考え難くなった。これは、少数の回答者だけのイメージと多数の回答者に共通のイメージとを同列に扱うことで、後者の価値が相対的に下がってしまい、その特性が埋没してしまったということであろう。

反面、20%以上では、軸相互の独立性が強過ぎて、形容語同士の関係が立体的には見えてこなかった。

その点、基準を15%以上にしたとき、形容語が比較的散らばり、軸の解釈も最もうまくいったように思われる。その場合、「重い — 軽い」「上品 — 下品（愛らしい — 汚らわしい）」「きれい — かわいい」という3つの軸が考えられたわけだが、20%以上、10%以上の場合にも類似した軸が見られていることから、ある程度妥当なものといえそうである。2番目の軸は、きれいなもの、かわいいものを愛好する一方、汚らわしいものを嫌悪するという志向を示しているようであり、より一般的には「好き — 嫌い」ということになるかもしれない。

ただ、プロット図で見てもわかるとおり、少数のものを除いては、カテゴリー間の関係の強弱が明らかになってはいず、混沌としているきらいがある。これはカテゴリーを統合、整理することで解決しなくてはならないであろうから、まずカテゴリーの整理を行ったうえで、サンプルの分析に進みたいと思う。

注

- (1) 日本語教育学会編、大修館書店刊、1982
- (2) 拙稿「語種イメージの分析 — 大学生と小学生の調査より —」（『岩手大学教育学部附属教育工学センター教育工学研究』12、1990）
- (3) 分析にはLotus 1-2-3 2.3J（ロータス）およびLotus 1-2-3多変量解析ver1.0（オードマン）を使用した。

参考文献

- 井上史雄 1980 「方言イメージの評価語」（『東京外国語大学論集』30）
古谷野亘 1988 『数学が苦手な人のための多変量解析ガイド』（川島書店）
石原辰雄・長谷川勝也・川口輝久 1990 『Lotus 1-2-3活用多変量解析』（共立出版）

